

ちばけん公民館 スタッフニュース



撮：白土 栄一



わがまちじまん!! 人にやさしい住みよい町 銚子

周囲が海と川に囲まれているため、気温は年間平均気温が約 15℃で夏涼しく冬暖かい典型的な海洋性気候は、関東平野部では珍しく日中でも 30℃を超えることはほとんどなく、35℃を超えることはめったにありません。このため、熱帯夜になることもあまり無く、一方、冬場は南九州並みに温暖で気温が氷点下になることは少なく、雪が降ることは非常に珍しいことです。またトマト、メロン、スイカ、イチゴなど海洋性気候に適した野菜が栽培されています。

房総半島から三陸海岸に至る太平洋海域は、北上する暖流の黒潮と南下する寒流の親潮が交差することで、種類、量も豊富な、世界三大漁場の一つに数えられています。この海域に面する、銚子漁港の水揚げ量は、全国トップクラスの座を占めています。高級魚のキンメダイは、その徹底した漁獲管理で、銚子を代表するブランド魚となっています。

銚子を訪れて、驚かれることのひとつに、風力発電の風車の多さがあります。年間を通して程よい風が吹く地形の特性を活かし、30基以上が稼働しています。

太平洋に突き出しているので、初日の出が海岸線では日本一早いことで有名ですが、犬吠埼の足元に1億2千万年前の白亜紀の地層が確認できることや屏風ヶ浦で地層の学習ができることなどから、2012年には、ジオパーク「大地の公園」として認定されました。

東洋のドーバーと称される約10kmにわたり連なる屏風ヶ浦の雄大なスケール全体を見渡すなら、愛宕山の高台に位置する「地球の丸く見える丘展望館」がお勧めです。日本にもこんな風景があったのかと思えるでしょう。

天候と自然と食と多くに恵まれた銚子への移住はいかがでしょうか。

第65回千葉県公民館研究大会開催

テーマは

「地域に根ざしたこれからの公民館のあり方を求めて」



11月16日(土)、茂原市民会館、茂原市中央公民館及び茂原市役所を会場に第65回千葉県公民館研究大会が開催され、県内の公民館職員、公民館運営審議会委員、社会教育関係者など、約300人が参加しました。

研究大会実行委員長である田邊正二白子町公民館長の開式のことばで始まった今大会、田邊委員長からは、10月16日の台風26号による大雨により、会場は水に浸かり、開催が危ぶまれたところ、地元茂原市の方々の懸命な復旧作業により、本日を迎えたとお話があり、大変なご苦労があったようです。

続いて、白子町コーラスサークル「コール・ヴィント」の皆さんの合唱とともに、参加者一同が「公民館の歌」を斉唱し、千葉県公民館連絡協議会五十嵐容子会長から主催者あいさつ、千葉県教育庁教育振興部生涯学習課社会教育振興室奥山恵子室長から来賓祝辞、開催市である茂原市の教育委員会鈴木健一教育部長から歓迎のことばをいただきました。

午前中の全体会は、地元の地域イベントなどで活躍している「中の島太鼓」による迫力ある和太鼓の歓迎セレモニーで、幕開けとなりました。

引き続き「公民館における災害対策」について～地域力を最大限に活かす減災対策のすすめ～と題して、公益財団法人市民防災研究所理事・特別研究員の池上三喜子氏による記念講演が行われました。池上氏は、阪神淡路大震災や東日本大震災などの災害事例調査を行い、市民一人ひとりが震災や火災から命と暮らしを守るため、身のまわりを見直して工夫と実行を進めることを提唱されています。

最初に災害を軽減する「自助」「共助」として、家屋の安全確認、耐震化や防災用品、生活必需品の準備など、市民が日頃から基本的に備えるべきことについて、具体的な事例の紹介やアドバイスをいただきました。池上氏は、毛布代わりになるアルミクシシートや一週間分の飲み薬など、今ここで災害に見舞われても、最低限必要な物を50品目くらい常に持ち歩いているとのことでした。

次に、内閣府「一日前プロジェクト」から伝わる住民の意識、行政職員の意識についてお話をいただきました。その中で、「避難所に来た方々をお客様やお姫様にはしてはいけない。避難所のリーダーは、そういう人たちに声をかけ、一緒に役割分担し、組織的に運営することが大事です。」また、「公民館など避難所における職員の対応には限界があり、職員は、『災害時にやれることはここまでです。皆さんのお手伝いなくしてはできませんので是非お願いします。』とはっきり言うこと。それには、日頃から防災訓練の中で、地域のリーダーとのつながりを持ち、役立つ人材を把握しておくことも大事です。」と、被災地で聞かれた体験談を踏まえたお話をいただきました。最後に、「災害が起きてから考えるのではなく、日常から想像力をたくましくして自分の地域で起こりそうな防災訓練を体験し、地域の人たちと一緒に、それを乗り越える方法を考える話し合いをしてください。」と締めくくられました。

災害時においては、避難所となり得る公民館ですが、その機能を発揮するためには、日頃から地域住民とのつながりや協力関係を築いておくことがいかに重要であるかを、再認識する機会となりました。

午後からの分科会では、中央公民館、市役所、陸沢長南方面移動分科会に分かれて「施設の老朽化と維持管理」、「高齢社会と公民館」、「公民館の役割と事業のあり方」「地域防災と公民館」「地域づくりと公民館」の5分科会で、それぞれの研究テーマに沿って活発な討議・視察が行われました。

今回の研究大会を主管されました長生地区公連の皆様、大変お疲れ様でした。

公民館スタッフのつばやきコーナー

館
長

『住民主体の公民館事業の新たな取り組みとして』

南房総市丸山公民館 館長 庄司 一夫 さん



平成 25 年 4 月から公民館長として勤務しています。合併後 7 年が経過し、過疎化、高齢化の著しい本市にとって、公民館、福祉施設、コミュニティ施設の再編はもとより、職員数も年々削減される状況です。

公民館と地域とのつながりの希薄化が懸念されるなか、地域の学習ニーズに合った講座を開催するため、社会教育に精通している方や公民館サークル代表者、地域づくり、ボランティアなど各種団体のリーダーとして活躍し、公民館活動に理解のある方から、生涯学習推進員を選出し企画運営をする仕組みをスタートしました。旧町村 7 地区で、推進員の豊富な

知識経験、地域を熟知してこそ企画できる講座を展開しています。特に高齢化率が高い地域であることから、自身に迫る高齢化と健康への不安から「認知症への理解」、「健康寿命の維持」などのテーマが多く企画開催されています。また、世代間、地域との交流をテーマに、地域の方に講師を依頼しての、流行りの苔玉作りやお正月のお飾り作りなど、アイデアを出し合い、多様な発想から企画をしています。今年度は、仕組みづくりの段階であるため、講座の回数は、少ないですが、地域の自然、歴史、史跡、何とんでも人的資源を新たに発見・活用できることが、この制度の大きなメリットと考えます。



『公民館との縁』

職
員

千葉県さつきが丘公民館 円城寺 みどり さん

公民館とは以前から縁があります。私が 3 歳頃に、親に連れられて近くの公民館図書室に行き、紙芝居を借りていました。小学校に入ってからも、よく連れて行ってもらいました。当時はコンピューターではなく、本の後ろにはさんであるカードを使って手作業で貸出してもらったことを覚えています。

そんな私が今度は親になり、近所の公民館で「子育てママのおしゃべりタイム」に参加しました。子育てについての相談など、同じ年ごろの子供を持つ親同士交流ができ、他の親子の様子も観察できて、密室育児から救われました。

縁あって、3 年前に千葉県さつきが丘公民館に配属になりました。当館は、千葉市の北西部、花見川区のさつきが丘団地の中にあります。昭和 55 年 5 月に開館し、図書室も併設されています。当館の向かいには犢橋貝塚公園があり、緑も多いところです。さつきが丘団地は、昭和 40 年代後半に分譲されていて、自分とは同年代になります。

仕事は、主に図書室業務を担当しています。小

さい頃見上げていたカウンターに、自分が立つ側になりました。お子さん連れの利用者もよくいらっしゃいます。私が昔読んだ本が借りられると、懐かしい気持ちになります。

事業もいくつか担当しています。他館の事業を参考に大人向けの映画会を開催したところ、回数を重ねるごとに、参加者がだんだん増えてきました。さらに、地域の方から、自治会でも映画会を行いたいので、手続方法を教えてほしいといわれました。これは、嬉しい驚きで、機材等の貸出を行っている施設をご案内しました。後日自治会独自で開催されて、盛況だったそうです。

小学校 2 年生が町の探検で公民館を訪問する時は、カウンターで貸出・返却のコンピューター操作を体験させています。正直、羨ましいです。実際に触ってみた経験が、将来進路を決める時に何かのヒントになってくれれば嬉しいです。

今後も、上司・先輩のご指導を受けながら、地域の「縁」をつなぐお手伝いをしていきたいです。

まちより むらより、

「和太鼓に触れてみよう 子ども講座」

習志野市谷津公民館 ☎047-452-1509



『和の心を知る』をテーマに和太鼓を体験しました。

今年で3回目になるこの講座は、参加者も多く小学1年生から5年生の子どもたちが集まり、真剣なまなざしで取り組んでいました。太鼓の由来・あい

さつの仕方・ばちの持ち方・立ち姿など基本を教えてください、リズム打ちやかけ声の練習をしました。打っている途中での交代もリズムに合わせスムーズにできて、楽しそうでした。最後に『ドラえもん音頭』に合わせて、グループごとに練習の成果を発表しました。子どもたちは大満足で終了しました。

参加した子どもたちは「初めは難しかったけど、だんだん上手にできて嬉しかった」「またやりたい」「音が大きくてびっくりした」と笑顔で話してくれました。講師からも「子どもたちはみんな一生懸命で、とても吸収が早いですね」とお褒めの言葉をいただきました。触れる機会の少ない和太鼓を思う存分打つことができ、良い体験ができたようです。

「長寿大学」

我孫子市我孫子地区公民館 ☎04-7182-0515



長寿大学は、年齢にふさわしい社会的能力と、よりよい人間関係を作りながら楽しく学び、地域の活動やまちづくりなどに対して、積極的に参加できるような学習過程が計画されている4年制の学級で、今年で創立40周年を迎えた歴史ある公民館事業のひとつです。

長寿大学の1年間は、4月の1年生入学式から始まり、2月の4年生卒業式まで各学年24回の学習を行い、学習内容は、「一般教養・福祉・健康・校外学習・手工芸・我孫子について」など多岐にわたった学習をします。また、学級組織には、「運営委員・

班長・大学祭・運動会・宿泊研修・校外学習」などの実行委員会があり、様々な行事や学習について話し合いをもちながら年間学習に沿って自主的に運営しています。

全学級生対象のイベントは、毎年秋に行われる運動会。2月に行われる大学祭などがあり、大学祭では各学年の発表にとどまらず、学習とは別に自主的に活動しているクラブ活動の日頃の成果を発表して大いに盛り上がります。

また、4年生になると大学生活の締め括りののひとつとして「宿泊研修旅行」があり、学級生がアイデアを出し合い、スケジュールを組み立てています。

今年は10月31日から11月1日にかけて紅葉の会津・裏磐梯を回り「大内宿」で江戸時代の町並み散策、大河ドラマ「八重の桜」の舞台となっている「鶴ヶ城」「飯盛山」では歴史を学び、「塔のへつり」や「桧原湖」「五色沼」では地元「手賀沼」とは違った湖畔の景色を楽しみながら散策をしたりと盛り沢山の宿泊研修でした。

卒業後も、長寿大学での経験を地域での活動などに役立てて、さらに活躍していただけることを期待しています。

持ちより公民館だより

「ドラム自然楽校エコキャンプ」

栄町ふれあいプラザさかえ ☎0476-95-1112



ドラム自然楽校は、町内の自然環境をフィールドに、子どもたちが人と自然の関わりについて幅広い理解を深め、自然を大切に思う心や環境問題を自ら考え行動する力を育成することを目的として、栄町イメージキャラクター「龍夢（ドラム）」君にちなんで昨年度開校しました。町内小学生約50名が、自然の中で元気一杯に農業体験・エコキャンプ・自然

観察などの自然体験活動を年間10回行っています。

その中でも、エコキャンプは子どもたちが最も楽しみにしている一大イベントで、今年は9月14日～15日の2日間、千葉県立房総のむらに隣接している町営の多目的広場で開催しました。宿泊設備が整ったキャンプ場ではないため、何かと不自由な点があったものの、皆で協力してテント設営や飯盒炊さんに汗を流し、蔓で作った輪投げや竹鉄砲を使った「エコ縁日」は大賑わいとなりました。

また、森林の静けさの中で満天の星空に感動し、初めてのテント泊に興奮してなかなか眠りにつけなかった子どもたちも、早朝からの大雨にはたいへん驚いた様子でしたが、普段では味わえない貴重な体験ができたと思われま。

今後も自然の中で思いっきり遊ぶワapakな子どもを一人でも多く育成できたらと思います。

「目指せ名人！」～子ども将棋教室～

東金市中央公民館 ☎0470-73-0148



東金市中央公民館では、平成15年度から小学生以上の子どもたちを対象に「子ども将棋教室」を開催しています。この教室は、5月～3月まで毎月2回、将棋の技術向上のみならず、礼儀作法の習得を目的として、そして日本文化の一つである将棋の普及に一役買っているものと思っています。

子どもたちは、将棋の上達目標にあわせて2つの部門（初級・中級）に分かれ、指導を受けています。初級の部では、「駒の動かし方を理解し対戦を楽しめる程度」まで。中級の部では、「楽しく指せるから3級から5級程度」までとなっています。指導者

は、公益社団法人日本将棋連盟公認将棋棋道指導員の先生をお願いしていることから、教えるほうも熱心、指導を受ける子どもたちも士だいに将棋の魅力にひかれ、熱心に教室に通ってきます。回数を重ねるたびに実力をつけ、最後には大人顔負けの腕をもった子どもが出てきています。年明けには、腕試しの場として「市民将棋大会（大人・子どもの部）」を開催。24年度の大会では、大人部門に子ども3名が参入しての対戦となり、3人とも上位入賞の成績を残してくれました。そのような中、この教室を卒業し、「奨励会」に入るための「研修会」に参加している子どもまで輩出したこの教室と先生の指導に頭が下がる思いです。

また、地元にある東金将棋同好会支部の厚意を受け、子どもたちはプロ棋士と指導対局を受けられるという、貴重な経験を積ませていただいています。

将来、この中から一人でも有名なプロ棋士として出てくることを期待するばかりです。

最後に先生の好きな言葉である「負けて覚えて強くなれ」・「負けた分だけ強くなる」この言葉、私は大好きです。私もこんな気持ちで仕事に取り組んでいるのかも？

まちよりむらより、 持ちより公民館だより



町民カレッジ「文化財めぐり」

大多喜町中央公民館 ☎0470-82-3188

上を目的に開催しています。

今年度は、圏央道の延伸により時間的に余裕ができ、今まであまり訪れる機会が少なかった北総方面まで足を延ばすことが可能になりましたので、秋に香取・佐原方面の神社仏閣巡りを企画し伊能忠敬記念館や香取神宮等を散策しました。当日は曇天でしたが、雨の心配はらず参加者も有意義に過ごせたように感じました。

参加者は例年、文化財保護協会の方など年配の方が中心となりがちですが、女性の参加者もわずかですが増えつつあります。

この講座のような文化財や施設巡りは、回を重ねていくごとに行き先や方面に限りが生じてくることから、毎年コース設定に苦慮しているところですが、初めて参加していただける方もいるという現実から、今後もさらに工夫を凝らしていきたいと実感しました。また、参加者の様々な意見に耳を傾けながら、公民館へ来て良かったと思われるような、また笑顔で帰っていただけるような教室や講座の場を提供できるよう努力したいと思います。

町公民館主催事業に「町民カレッジ」というものがあります。これは年4回程度、主な内容として日帰り視察研修や趣味的講座を中心に開催しています。毎年、内容が偏りがちになり工夫が求められているところではありますが、町内在住者や在勤者の方に募集を呼びかけ各講座30名程度の参加を目標に開催しています。

主な内容は、趣味的な講座をはじめ歴史や文化的な分野の観賞会や視察研修などですが、ここでは文化財めぐりについて紹介させていただきます。

この講座は、町文化財審議会委員の方に講師を依頼して、日帰り研修として主に県内各地域に点在している先人が遺した貴重な文化財や施設等を訪れ、郷土の歴史を学習し自己研鑽を高めることや教養、知識の向

「ピッコロ学級」～知って安心 話してスッキリ 幼児のための家庭教育学級～

富津市中央公民館 ☎0439-65-2251



ピッコロ学級は、幼児のための家庭教育として幼児の心身の発達、遊びの実習等を通して、お母さん達の出会いの場、語り合いの場にしてほしいという目的で平成21年度にスタートしました。

毎年6月～2月まで月1回の頻度で開講しており、内容は「わらべうた遊び」、「消防防災センター

の見学」、「子育てに関するお話」、「小児科関係の講演」、「館外学習」、「おもちゃ作り」、「幼児の成長に役立つおやつ作り」など盛り沢山で好評です。

小児科関係の講演では、小児科の病院を開業している先生を講師として招き、「病院が開いていない時間に子供の具合が少し悪くしたらどうしたらよいのか?」「このぐらいで病院に行ったら迷惑かも・・・」と思えるような病気との境界領域の状態や、「病気じゃないんだけど、ちょっと聞いてみたい!」と思ったことをその場で聞けるなど、中々質問を医者にはできない方も気軽に相談でき、受講者以外でも乳幼児を抱えている保護者の方の参加を「公民館だより」などで広く募集しています。

現在、少子高齢化で子供を持つ親が少なくなってきましたが、これからも子育て支援に取り組んでいければと思っています。



平成25年度

(平成25年5月1日～平成26年5月1日)

自治公民館を含む
すべての公民館活動を
支援する制度です。

公民館総合補償制度

市町村の公民館および自治公民館、また社会教育法に定められた「公民館の目的」に寄与するための施設等は、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された公民館もご加入いただけます。

1. 行事傷害補償制度 [災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約付帯)+見舞金制度]

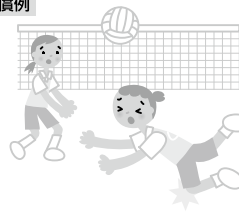
保険

- 公民館行事参加者のケガを補償します。
- 公民館利用者のケガを補償します。
- 行事の事前練習、準備中、後片付け、行事参加者の往復途上のケガを補償します。

見舞金制度

- 急性疾病に死亡弔慰金、入院見舞金(1日目から)を支給します。
- 公民館建物災害(火災・地震・水災)に見舞金を支給します。

補償例



- バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

行事傷害補償制度のここがおすすめ

手続きが簡単!

- 年1回の加入手続きで年間行事が対象になり、個別の行事予定の通知は不要です。

対象者が広い!

- 行事参加者や公民館利用者の居住地は問いません。
- 公民館が公認するサークル活動の参加者も補償します。
- 有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 親が参加する行事に同伴した同居の未就学児も補償します。

補償範囲が広い!

- 日本国内であれば、行事の場所は問いません。
※別に定める危険な運動中などは対象外です。
- 公民館が参加者を事前に名簿で把握している場合は、往復途上も補償します。
- 食中毒や熱中症も補償します。
- 宿泊をとまなう行事も対象です。

掛金の割引あり!

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入する場合には、掛金の割引制度があります。

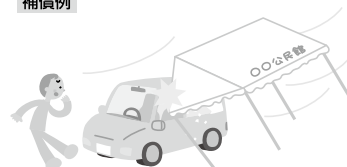
2. 賠償責任補償制度 [賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約付帯)]

保険

- 公民館の施設の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、物を破損し、公民館が法律上の賠償責任を負担した場合に補償します。

注) 公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

補償例



- テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

3. 職員災害補償制度 [普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約付帯)+見舞金制度]

保険

- 公民館業務に携わる方の業務中のケガを補償します。

見舞金制度

- 公民館業務に携わる方の病気や業務外のケガに死亡弔慰金や入院見舞金(1日目から)を支給します。

補償例



- 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては「平成25年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き」をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパンまでお寄せください。

■引受保険会社

株式会社 損害保険ジャパン

営業開発第一部第三課

〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3

TEL 03-3593-6436

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)

エコー総合補償サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9

TEL ☎ 0120-636-717

FAX ☎ 0120-226-916

※平成25年10月1日より社名変更しました。

(S)12-11056)作成日 平成25年5月22日[1305K-0]

シリーズ・県内の
元気館

～村の生涯学習の拠点として～
長生村中央公民館
☎0475-32-3770



長生村は、千葉県で唯一の村であり九十九里浜に面し、東京都心から約80キロメートルの距離にあります。東西約7.4キロメートル、南北約6.0キロメートルで、面積は28.32平方キロメートルです。

人口は約1万5千人で、太平洋の黒潮の影響を受けて、年間を通して温暖な気候に恵まれています。

村の生涯学習の拠点施設として、中央公民館が1館置かれています。場所は、JR外房線八積駅から徒歩で約6分と大変交通の便に恵まれた場所で、のどかな田園地帯にあります。

村では、第5次長生村総合計画において、「豊かな《こころ》を育てる村づくり」を政策の柱として定め、生涯学習の推進を図っていくことを目標としています。中央公民館ではその目標の達成に向けて多数の公民館主催の講座を開催し、住民の学習の場を提供しています。昨年度の公民館利用者数は、約1万9千人で、幼児から高齢者まで幅広い年齢層に利用されています。

昨年度開催した講座は、通年講座としてパソコン教室やトレッキング教室など9教室を開催しました。また、小学生向けに夏休みの特別講座として、親子移動教室やおかし作り教室など4教室を開催し、多くの方々に参加いただきました。

一般成人向けとしては、「セカンドライフ応援講座」と題して、50歳以上の方を対象に、退職後をいきいき



と過ごすための講座や、本物の芸術を鑑賞し芸術に対する造詣を深めてもらうため、移動教室として「日展」の鑑賞会などを開催いたしました。

そして、毎年3月上旬に公民館教室で学んだ1年間の成果を発表する場として、『公民館教室発表会』を開催しています。

また、約60の自主サークルの団体が中央公民館で活動しており、多くの方々が色々な部門で意欲的に学習活動に取り組んでいます。

歌や踊りを活動の中心にしている自主サークルの皆さんは、公民館に併設されている長生村文化会館のホールで開催される文化祭や舞踊祭等のイベントに参加し、日頃の学習の成果を披露しています。

現在の中央公民館の大きな問題点は、建設から41年が経過し施設の老朽化が進み、雨漏りや設備の故障が多く発生することです。緊縮財政が叫ばれている折、財政的にも厳しい状況ですが、利用者にも不便を掛けることのないよう適切な施設運営を行っていきたいと思います。

今後も長生村の生涯学習の拠点施設として、より多くの住民が地域と人のつながりの場として、有効に活用できるように努力していきたいと思います。



ちばけん公民館
スタッフニュース

編集：千葉県公民館連絡協議会 広報委員会
委員長：石橋正一（銚子市市民センター）

発行：千葉県公民館連絡協議会
印刷：株式会社 豊文堂